

パーキンソン病の社会的認識をたかめよう

全国パーキンソン病 友の会会報 支 部 だより	〒315 茨城県石岡市若松1-7-5	NO-16
	電話0299(22)5580	発 行
	(郵便振替口座番号) 宇都宮0-38042	平成3年
	(加入者名) 全国パーキンソン病友の会茨城県支部	1991.2.10

目 次

◎秋の交流会の記事〔常陽新聞〕	-----	2
◎ 〃 にて挨拶〔清水 昇勝〕	-----	3
◎ 〃 に参加出来なかった会員の近状	-----	4
◎ 〃 に協力して下さった方々	-----	4
◎ 〃 の参加者のアンケート	-----	5
◎チャリティ・コンサートの記事〔朝日新聞〕	-----	6
◎ 〃 〃 〔ご寄付・ご祝儀者〕	-----	6
◎ 〃 〃 の行動日誌	-----	7~8
◎ 〃 〃 収支決算報告	-----	9
◎ 〃 〃 収益金の寄贈先からのお礼文〔JPC〕	-----	10
◎「大学と科学」聴講の報告〔池田 敏雄〕	-----	11
◎パーキンソン病体操〔岐阜支部会報より転記〕	-----	12~15
◎感激のチャリティ・コンサート〔清水 晴美〕	-----	16~17
◎川の流れのように〔大森 信枝〕	-----	18
◎5年を振り返って思う事〔植本 泰久〕	-----	19
◎新会員の紹介	-----	19
◎事務局からのお知らせ	-----	20
◎編集後記	-----	20

パーキンソン病友の会県支部

29日に秋の交流会

アマ歌謡連盟 石岡支部が参加 心温まるものに

難病のなかでも特に多いといわれるパーキンソン病患者で組織する全国パーキンソン病友の会茨城県支部(石岡市若松、清水昇支部長)の「秋の患者・家族交流会」は二十九日、多賀郡十王町の国民宿舎・鶴の岬で開催される。今年には特に日本アマチュア歌謡連盟石岡支部(石岡市若宮、伊藤明正支部長)の会員たちもボランティアで参加、歌やコントで患者・家族を励ますなど例年になく心温まる交流会になる。

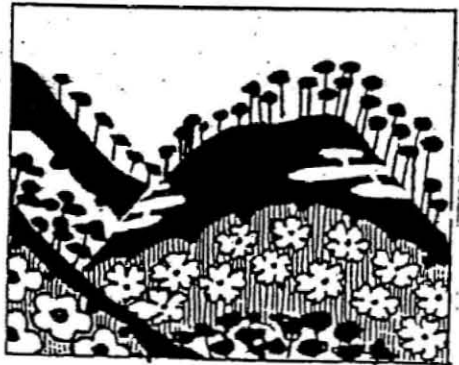
パーキンソン県支部が結成されたのは昭和六十一年三月で現在の会員は百二十人。毎年、患者と家族の交流会を開催し、患者の交流を促し合っている。今回の交流会は例年の秋の行事の一つだが、たまたま清水支部長の晴美夫人が「家庭を明るくしたい」として歌謡連盟の会員になったことから伊藤支部長がパーキンソン病を知り、ボランティアをかって出た。また石岡ブラザホテルもバス二台を貸出し、早瀬淳一支配人が交流会の司会役を務めることになっている。

同歌謡連盟は五十八年、茨城で設立され、現在全国に百二十支部をもつカラオケ団体では最大の組織。石岡支部は連盟設立と同時に開設され、会員は八十人。週一回、伊藤支部長のカラオケ教室で練習に励むほか、お年寄りの慰問などボランティア活動も続けている。

患者・家族の交流会は午後一時から筑波大・金沢一助教と県立中央病院・吉沢和朗医師による「医療・健康相談会」が行われたあと午後五時から歌謡連盟会員十六人による懇談会が開かれる。とくに県立中央病院の歌手・上原敏郎(宇都宮市在住)が特別出演して自慢のソドを披露

交流会を盛り上げる。なお、パーキンソン病県支部では交流会のほか初めてのイベントとして十一月十八日、つくば市の「ノバホール」に世界的なピアノ奏者、エルンスト・サイラー夫妻を招き、ピアノデュオ(二重奏)のコンサートを開く。問い合わせは清水支部長(電話〇二九九―三二一五五八〇)まで。

常陽新聞



挨拶文

支部長 清水 昇勝

本日は支部結成五周年記念患者・家族交流会に参加する為休調を整え、又、身体の大変のところ太平洋が一望出来る『鵜の岬』に皆様と一緒に集まる事が出来ました。この計画・企画を担当されました。役員の方々に感謝致します。

ここ『鵜の岬』は昨年度の全国の国民宿舎の人気投票一番であったと伺っております。

今回の交流会に、金沢先生と吉沢先生にお願いしましたところ、心よく引受けて下さいまして、私たち質問に対しお答え頂けるものと思います。又、療養についてもご指導頂けると思います。先生方、お忙しいところ誠に有り難う御座います。

夜の懇親会は「しおり」でご案内とうり東芝・レコード専属歌手の上原敏郎さんを始め日本アマチュア歌謡連盟石岡支部会員の皆さんによる歌謡ショーが行なう事になっておりますので、どうぞご期待下さい。

皆様、今日と明日の一泊二日の交流会を楽しく 支部結成五周年記念してお過ごし下さい。

最後に私たち患者団体に対し暖かく受入れ下さった『鵜の岬』の皆さんに厚く感謝して挨拶と致します。



'90患者・家族交流会アンケート

- * はじめて参加致しましたが大変楽しかった、有意義でした。特に日本アマチュア歌謡連盟石岡支部の皆さんのご厚意に深く感謝致します。
- * 毎月いくらか旅行費とか、交流会費として貯金をしておいたらどうか。
- * とても良かった、御苦労様でした。今後も交流会を続けて下さい。
- * 非常に御馳走があって良かった。カラオケ最高でした。クイズも興味が湧き楽しみでした。欲を云えば宿舎が迷路のようで困った、これも又スリルあって良かったかな、役員さん本当に御苦労様でした。感謝の二文字に尽きます。
- * 今度の交流会、初めての参加でしたが、身体のひきめを感じさせない素敵な催しで楽しい集まりで御座いました。
- * 今回の交流会、私は初めての参加ですが、とても内容の充実した意味のあるものでした、役員の方の苦勞なしでは出来ないもののいつもお世話になりっぱりですみません
- * 本日は、楽しい一日を有り難うございました。いつもながら幹事の皆さまには色々とお骨折り頂きまして感謝しております。すべて最高でした、ありがとう御座いました
- * お風呂、トイレなど障害者にとって大変でした。交流会に先生を呼んでお話しを聞き質問など出来てよかった。良くなつた人の体験談を聞く場を取ったらどうか。
- * 交流会の運営に一考の必要さを感じた。
- * 皆さんの10年20年と頑張っておられる話を聞き元気付けられた。
- * 大変参考になる事が多く勇気づけられました、役員の方には大変お世話になりましたできましたら車椅子を一台位設置して頂ければ結構かと思ます。
- * 大変結構な事です、家におる時は自分のような病気の人はいないと思って落ち込みますが、参加して自分と同じ友がいるのだ、一生懸命生きなくてはいけないと思い元気づけられました。友の会の皆様良くして下さい、又役員の皆様の親切なことに大変うれしかった。
- * 上出来でした、出席者も多く盛大で従来に比し画期的なものであり、その企画及び実践の面での多大のお骨折を感謝します。医療会議、サービス、凡ての面で申し分ありません。
- * 旅館に到着後、直ちに部屋に行き荷物等を置いて会合に出るよう時間的余裕をとりたい、支部長の負担が重すぎるように見受けられる、会報には出来るだけ医療上のニュースをのせてほしい。

パーキンソン病 患者を励まそう

手足や言葉などが不自由になるパーキンソン病によって悩まされ、コンサートを企画した。界各地で演奏活動を行ってきた。来日中にピアノの個人教授や家族が十一月十八日、世界的なピアノ・デュオ(二重奏)は次第に進行するものもある者や家族は、どうしても家にとりかちで、もっと明るくなら

ピアノのザイラー夫妻招き

11月18日に慈善コンサート

つくば

夫妻は京都市船井郡日吉町の農家を改築して住み、季節野菜などを作りながら世界各国で演奏活動を行っている。ピアノ・デュオ奏者としてクラシックフ

リテイコンサートを開く。外に出ることが少ない闘病患者に音楽を楽しむ機会をつくり、一般の人たちにもパーキンソン病への理解を深めてもらう、と

パーキンソン病は英国の医師に

— 朝日新聞



住所	氏名	金額
水戸市	小佐畑 はつえ	10,000
千葉県	大木 良三	1,000
東京都	平岩 幾子	2,000
つくば	金澤 一郎	30,000
茨城町	吉沢 和朗	10,000
つくば	弦幕 淑子	3,000
勝田市	佃 国夫	1,000
日立市	中村 幸四郎	10,000
石岡市	清水 昇勝	10,000
合	計	77,000

ピアノデュオチャリティ・コンサート行動日誌

全国パーキンソン病友の会茨城県支部

1. 11. 1 (月) ノバホール会場抽選会、11月18日決定
2. 1. 14 (日) 水戸市の山田様「ぬくもりの秋」参考にするため聞きに行く
2. 2. 5 (月) 千代田村の木村様ボランティアに依頼
2. 2. 7 (木) 佃様と一緒に県社協へ
2. 2. 13 (火) エラート音楽事務所へFAX
2. 3. 15 (木) 桜村社協、筑波大学、桜教育委員会訪問
2. 4. 12 (木) エラート音楽事務所へFAX
2. 4. 13 (金) さくら印刷へザイラーの写真を送る
2. 4. 24 (火) つくば市の和田先生に協力依頼
2. 5. 21 (月) 松本先生、木村さんと一緒に神立地区でポスター貼り依頼、白石楽器店
ピアノ教室訪問、エラート音楽事務所ポスターを送る
2. 5. 22 (火) 神立、ノバホール、北条の小高さんにチケット販売依頼
2. 5. 24 (木) 石岡ブラザホテル早瀬さんにポスター掲示を依頼
2. 5. 31 (木) 水戸国立病院長竹さんチケット販売依頼、県社協、石岡市役所にポスター
の掲示依頼
2. 6. 3 (日) 三中地区公民館予約取り、横浜のボランティアにチケット送る
2. 6. 4 (月) つくば社協へ挨拶
2. 6. 8 (金) 豊里支所、つくば学園病院、研究交流センター、本町福祉事務所、桜支
所、桜心障者センターにポスター掲示を依頼、神立の斎藤手をつなぐ親
の会会長宅訪問
2. 6. 11 (月) 栗又さんにポスター送る
2. 6. 17 (日) 第1回実行委員会開催、栗又さんにチケットを渡す
2. 6. 21 (木) 栗又さんにパンフ送る
2. 6. 25 (月) エラート音楽事務所事務連絡
2. 7. 17 (火) 土浦市つくば専門学校理事長戸谷様へ協力依頼、桜社協、つくば社協訪
問
2. 8. 6 (月) 勝田の佃さんチケット10枚送付、戸谷様から協力方の電話有り、つく
ば社協から後援承諾の連絡、エラート音楽事務所プログラムの件で打合
2. 8. 9 (木) ザイラーさんにポスター送る

ピアノデュオチャリティ・コンサート行動日誌

NO2

全国パーキンソン病友の会茨城県支部

2. 8. 11 (土) 第2回実行委員会、つくば西武チケットセブンに100枚依頼す、第一ホテル予約
2. 8. 16 (木) 植木さんと牛久社協訪問、エリート情報報道依頼
2. 8. 18 (土) 三中公民館事務打合せ
2. 8. 22 (木) 横浜の西島様と事務連絡、
2. 8. 23 (木) 牛久の池田様にポスター送付
2. 8. 26 (日) 石岡市障害者団体にチケット販売
2. 8. 29 (木) ザイラーさんにチラシ送付
2. 9. 2 (日) 第3回実行委員会
2. 9. 4 (火) 土浦二高、つくばセントラル病院、常陽新聞、筑波江戸屋旅館、つくばライオンズクラブ訪問
2. 9. 12 (木) 土浦・栗又様にチケット50枚送付
2. 9. 13 (木) 土浦社協、土浦市民会館、亀城プラザ、白石書店、土浦市博物館、土浦カトリック幼稚園、筑波情報図書館、つくば美術館、つくば市吾妻地区公民館、西武つくば店、つくば市役所、つくば市広報課、つくば市福祉事務所、小高様宅等に訪問ポスター掲示を依頼
2. 9. 15 (土) 東京河野様にチケット20枚送付
2. 9. 16 (日) 土浦市・戸谷様へチケット50枚送付
2. 9. 22 (土) 朝日新聞筑波支局へ報道依頼・勝田の金沢様宅事務連絡
2. 10. 5 (金) 筑波大学、つくば市社協、桜支所、亀城プラザ訪問
2. 10. 6 (土) 茨城新聞、茨城放送、NHKテレビ、読売新聞報道依頼
2. 10. 7 (日) 第4回実行委員会
2. 10. 15 (月) 平沼様へチケット10枚送付
2. 10. 18 (木) さくら印刷プログラム印刷依頼
2. 10. 19 (金) 常陽新聞、アイリビング報道依頼、霞が浦国立病院、土浦協同病院ポスター掲示依頼
2. 10. 24 (木) よみうりセルパ原稿FAX
2. 11. 7 (木) 土浦・栗又様と打合せ
2. 11. 8 (木) 神立・木村様、筑波・高野様らとノバホールに於いて打合せ
2. 11. 10 (土) 合同打合せ
2. 11. 15 (木) NHKテレビ放映
2. 11. 17 (土) ザイラー夫妻つくば第一ホテルにて出迎え
2. 11. 18 (日) つくば市立ノバホールに於いてピアノデュオチャリティ・コンサート盛大に開催

ザイラーピアノ・デュオ チャリティコンサート
収支決算報告書

【収入の部】

科 目	金 額	摘 要
チケツト代	1,828,200	919枚
寄付・祝儀	77,000	別紙の通り
愛の箱	81,700	〃
合 計	1,986,900	

【支出の部】

科 目	金 額	摘 要
会 議 費	20,121	コンサート実行委員会茶菓子代
印 刷 費	232,484	チケット、プログラム、チラシ、ポスター、冊子代
会 場 費	152,900	ホール借料100,300 棟12,000 謝状 500
出 演 費	319,000	ザイラー
ホ テ ル 代	27,244	〃 宿泊料
旅 費	73,940	〃 交通費
通 信 費	18,972	通信連絡・切手代
渉 外 謝 礼	43,240	関係機関お願いとお礼
接 待 費	34,470	当日のスタッフの弁当代等
交 通 費	41,126	役員等の交通費
事 務 費	11,961	事務用品
寄 贈 金	1,000,000	JPC・雑費20万、P-新館10万、P-新館支那50万
合 計	1,975,458	
差 引 残 高	11,492	新年慰労会へ

1990年12月25日

全国パーキンソン病友の会
茨城県支部 御中

日本患者・家族団体協議会
代表幹事



御 礼

謹啓 貴会のご活躍に敬意を表します。

さて、このたびは、私ども日本患者・家族団体協議会（JPC）に、チャリティーコンサートの収益金の一部をご寄付いただきありがとうございました。御礼申し上げます。

ご存知のとおり、JPCも10月に独自事務所を開設し、家賃や備品類の購入のために予定外の支出が大幅に増え、財政対策に頭を痛めていたところですが、このようなお心づかいをいただきこんなに嬉しいことはありません。大切に使用させていただきます。

医療・福祉の充実と患者運動の発展のために、いっそう努力していきたいと思います。

貴会のますますのご活躍を祈念いたします。

皆様良いお年をお迎えください。

敬具

報 告

支部役員 池田 俊雄

1月12日東京有楽町の朝日ホールで「大学と科学」公開シンポジウム第2日目を聴講しました。演題は神経難病に関する現代医学の研究報告が多く素人の私には理解困難な内容でした。事柄の性質上、軽率な報告は慎み、理解出来た要点のみを記します。

●◎パーキンソン病は外因部質で発病するか◎●

順天堂大学教授 水野 美邦

麻薬患者が注射で快感にひたっている時、その副産物と思われる物質の中毒でパーキンソン病によく似た症状をひき起こした。この物質はMPTPと呼ばれ脳内でMPPに変わり、脳内の黒質部分に蓄積され細胞に障害を起こすことが解った。

アメリカのパーキンソン病患者は日本の5倍発生しアメリカ黒人は皆無、ただしアメリカに移住した者の中には黒人でも発生していることから外部環境の中にMPPに類似した物質が長年のうちに黒質部分に蓄積されてパーキンソン病をひき起こすのではないか。今この研究が精力的に進行中で、原因が解れば予防と治療の進展に大きく寄与することが期待される。

●◎遺伝子の解析で神経難病はどこまで解ったか◎●

筑波大学神経内科教授 金澤 一郎

筋ジストロフィーやハンチントン病（舞踏病）など神経難病数種の遺伝学的な研究の現状報告で、数世代にわたる遺伝子の追及など……話された。私には理解困難であった

●◎神経組織の脳内移植◎●

国立精神神経センター部長 高坂 新一

パーキンソン病のモデルラットの脳内に正常なラットの副腎髄質細胞や胎児黒質神経細胞を移植したところ機能回復にい、結果が得られたことによりこの方面の研究の現状が報告されたが、人間の脳内に対する移植の研究はこれからと云う事ようだ。

●◎痴呆やパーキンソン病の画像診断◎●

九州大学医学部教授 加藤 元博

脳内の解剖学的画像観察法としてCTやMPIがあることは周知のことだが、こゝに紹介するのはPETと称するもので脳機能を画像的に観察出来る機能である。黒質部分が正常人に比し色が黒から褐色に近い色を示すことやドーパミンの流量の減少などが動態的に把握出来るようである。

簡単な報告ですが、医学者、研究者のご努力には頭が下がる思いであつた。

パーキンソン体操

パーキンソン病は体の動きが少なくなりやすくそのため、筋肉や関節がかたくなり動きにくくなります。動きにくいからと布団で寝ていたり、家の中で何もせずじっとしているとますます動けなくなります。そうならないためにもよく動くことが大切です。

- ① 日常生活の中で自分のできることを決めて毎日行うようにしましょう。たとえばそうじとか洗濯とか手や足をよく動かす用事などがよいでしょう。
- ② よく歩きましょう。
- ③ 体操をしましょう。

パーキンソン体操の目的は筋肉や関節をよく動かす事によって体が動きにくくなったり姿勢が悪くなったりするのを防ぐのが目的です。

以下にあげる体操の内容は体をねじる事と手足を伸ばすことが中心となっています。これらはとくに動きにくくなる動きですので毎日行ってください。

顔の体操



片目ずつ閉じる 両目を閉じる 口を大きく開く 頬をふくらます 下あごを左右に

※ 歌をうたったりするのもいい運動です。

首の体操



前後にたおす

左右にたおす

左右に回す

腕と肩の体操 (立っていても、椅子に座っていてもできます)



両手を前につきだす
10秒間×2回



両手を上につきあげる
10秒間×2回



上げた手を左右にたおす
10秒間それぞれ1回



頭の後ろに両手を組む
10秒間1回



腰の後ろで手を組む
10秒間1回



体をねじる
左右に2回ずつ

参考:ヤールの重症度分類

ステージI	ステージII	ステージIII	ステージIV	ステージV
一側性障害(遠近、四肢)、肩関節。	両側性障害(遠近、四肢、肩関節)、明確な姿勢変化、日常生活はほぼ不変。	明確な歩行障害、突進現象、方向変換の障害、日常生活動作障害の進展。	日常生活動作(起立、歩行)の著明な低下、労働能力の消失。	完全な廃疾状態、介助による車イス移動または寝たきり。

足と体の体操



寝返りを右と左に2回ずつ



体を左右にねじる
左右それぞれ10秒



膝を伸ばし体をまげる
10秒間1回



前の方法が困難ならば
壁を利用し膝を伸ばして座る。



足の裏を合わせ脚を開き
体を曲げる
10秒

※背骨と腰を伸ばすためにうつぶせに寝ることも大変効果があります。テレビを見ている時でも5～10分ほどうつぶせに寝ましょう。

歩 く



頭を上げる
背筋を伸ばす
両手を振る

歩くことは一番簡単にできるリハビリです
毎日の生活の中に散歩を取り入れるようにしまし
ょう。距離は個人によりちがいますが、次の日に
疲れが残らない程度にしましょう。

※足がすくむ人は

- ① 歩く前に足踏みをする。
- ② 左右どちらかの足にきめてその足を上げてから歩き始める。
- ③ 歩く時に号令をかける
- ④ 一步目のあしは目標を決めて出す。

パーキンソン病の患者さんにとって一番効果のあることは家族の協力です。
動きにくくなり、依存的になりがちですので出来るだけ身のまわりのことは
自分でさせ、過保護にならないようにしましょう。病気のため消極的で悲観
的になりやすいので、家族の励ましと協力が必要です。

感激のチャリティ・コンサート

石岡市 清水 晴美（支部役員）

銀杏の色づく11月18日、つくば市立ノバホールでザイラーピアノデュオが盛況の内に終わりました。

一年前の（平成元年10月）国民宿舎「つくばね」での患者・家族交流会の時10日程前に神奈川支部でザイラーさんのコンサートを聴いた興奮さめやらぬ想いを、役員さんに話したところ、茨城でもやりましょうと話しがまとまり、11月1日午前9時に会場を借りる為の抽選会があり、ノバホールが何処に有るかも知らない状態で友人の車の後を少々信号無視をしても必死でついて行き、締め切り9時ぎりぎりに、つくば市の中心にある、ノバホールの玄関に走り込みました。

大勢の方が抽選に見えていてびっくりしました。幸い私は良い番号に当たり、平成2年11月18日に予約出来たのですが、当日の内に会場費の一部5万1千円を払い込むと聞き、財布には一万位しか持って居らず、又、2人で大あわて、……丁度友人が隣の常陽銀行のキャッシュカードを持っていたため、お借りして払い込みしました。

それから一年間コンサート、コンサートの一年でした。私共は初めての経験で何事も早めに用意した方が良くとばかり3月頃からポスターやチケット等の印刷を、（ノバホールに行って下さった友人の義兄さんが東京で印刷業をしていらっしゃるの）お願いしました。

茨城県教育委員会、茨城県社会福祉協議会と、その時はつくば市に五箇所の社会福祉協議会があり、ノバホールに一番近い桜村の社協に後援をお願いしてポスターを、あちこち貼った後、6月末になって5箇所の社協が合併して、つくば市社協となったので慌て、桜村社協の上にワープロでつくば市社協と書いた物を貼って廻り大変な思いをしました。

暑い夏の日差しの中、土浦市やつくば市の公民館、図書館、本屋さん、市役所、筑波大学等人の集まる所にポスターを貼らして頂き、又、牛久市と茎崎町の方は植本さんと池田さんをお願いしてそちらの社協の方もご協力頂き沢山の方がこのコンサートの為、動いて下さいました。

報道依頼も、朝日新聞を始め数多い地方紙も記事を載せて頂き11月15日には、NHKテレビにも報道して頂き、パーキンソン病の啓蒙運動に、少しは役に立ったかな？……と、思っています。

闘病に明け暮れる毎日の生活の中で、患者も家族も生の音楽を聴きたいと云う願いから始めたコンサートでした、主婦としての仕事も子供さんの幼稚園に迎えに行く時間も忘れて、暑い夏の日、車で走り廻って下さった方、ボランティアでチケット売りに一家総出で親戚友達まで巻き込で全力をあげて、お手伝い下さった方、沢山の方が心を一つにしてチャリティ・コンサートの成功のためご協力頂きました。何んにご礼申し上げて良いかわかりません。

皆様の心の暖かさに触れて感激の毎日でした。

友の会の役員さんも七回の実行委員会に全員出席して下さい、チケット売りに大奮闘して下さいました。夕立の後びしょびしょに濡れて、山にすすきを生け花用に取りに行っても下さった方、素敵な看板を書いて下さった先生方、うらで本当にボランティアでお手伝い下さった方があったからこんなに盛大なコンサートになったのでした。

前日の夜、ザイラーさんご夫妻を、第一ホテルにお迎えしてコーヒーを飲みながら打合せしました。とても素敵な、ご夫妻で明日のコンサートを、大成功にしたと思えました。

当日は少し雲がかかり晴天とまではいきませんが、暖かな日曜日で、第一ホテル前の大きな駐車場が満車で一時はノバホール近くの道路が渋滞する程でした。

ノバホールは1000席ですが750名の入場でほぼ満席でした。35名のスタッフの方も朝早くからお手伝い頂き、一日中、広い会場を走り廻って下さり感謝の気持ちでいっぱいでした。

筑波大学の金澤先生ご夫妻、県中央病院の吉沢先生ご夫妻、大きな病院の婦長さんをはじめ看護婦さん、ピアノ教室の生徒さん、身体障害者の方、目のご不自由な方やパーキンソン病友の会々員さん、外国人もご来場下さり、皆様からとても素敵なコンサートでしたと後でお手紙頂きました。

お陰様で100万円の収益金があり、役員会で話合った上で以下の団体に寄付させて頂きました。(日本患者・家族団体協議会、茨城県難病団体連絡協議会、全国パーキンソン友の会本部、同茨城県支部) コンサートを終って沢山の方との暖かい思いやりの出合を感謝しながら、これから難病患者家族運動のかてとして、主人と一緒に頑張っていくと思えます。



川の流れのように

水戸市 大森 信枝

友の会の皆様、明けまして新年おめでとうございます。や、もすると冬は身体の動きがどうしても鈍くなり、何かとご苦勞の多いこととご推察申し上げます。私も発病して5年目に入り（2年間は病名わからず）でしたが、数え歌ではありませんが「ふるえもすくみも何のその開きなおつて受けとめる……」そんな心境に少しづつ、ですがなつてきました。

ところで皆様は、美空ひばりさんが亡くなる直前まで歌っていた「川の流れのような」と云う歌をご存じでしょうか？ 私は今丁度その歌の文句に引つけられ勇気づけられています。特に次ぎの二番の歌詞です。

雨に降られて ぬかるんだ道でも

いつかはまた晴れる日がくるから

あ、川の流れのように

おだやかに この身をまかせていたい

あ、川の流れのように

移りゆく 季節雪どけを待ちながら

苦しい時 悲しい 泣きたい時 いつもその音楽を聴いて慰さめられています、何とか努力し頑張ろうと小さな声で口ささむ時、気のせいかわれが少しづつ、少しづつ、やわらぐような気が致します。

幸、私には健康な主人が居ります、時には叱られ…助けられて居ります（でも時々我ま、をいって困らせていますが）成人の日も又、天気が快いので（千波湖一周）をしてきました、（散歩は毎日実行）暫らく振りに好文茶屋に入りお抹茶を一服頂きました。

仲よく湖面を泳ぐつがいの鴨や、苦き日の自分達のように投げ餌にわめき騒いでいるゆりかもめの姿など、心楽しい時間を過ぎて頂きました ………

そして、「五つとやいつでも笑顔をとやさずに」

そんな思いをしみじみ再確認させて頂いた一刻でもございました、

……………青きざし寒の柳の湖通り……………



////////////////////////////////////5年を振り返って思う事////////////////////////////////////

竜ヶ崎市 植本 泰久(支部副支部長)

パーキンソン病(以下P病と略す)の茨城県支部が誕生してから、早5年を過ぎようとしております。私は2年目から役員となっておりますが微力故、これといった事もできず少しでも皆様の役に立てばと思っておりましたが、年が立つのが早いと思っただけです。ここで私なりに反省させていただきますと、恒例の行事としては、専門の医師の講演会、近くへの旅行、機関紙の発行、医療相談会等であります。また本年度はチャリティーコンサートとしてピアノの演奏会を行いました。

総会は昼からの講演会だけを聞かれにこられる人が多い事、旅行への参加者も増加しない事等からみて会員の要望も少しずつ変わってきている事を感じております。

私達の大きな目標は、P病が治る病気になる事、福祉国家としての経済的な援助(国、県、市町村等)や、ねたきりの人達への援助等が、誰もが考える事ですが、我々役員でできる事から行事の見直しを考える時期にきていると思っております。以前にも一時行った事のある寝たきりの人への訪問、地域集会等がありました。やはり他の人はどのようにしているか？

P病の医療技術はどこまで進んでいるか等々皆様の要望を再検討し入会してよかったですと思っける友の会へしていきたいと考えております。

私も発病いらい十年たちますがまだまだあきらめた訳ではありません。ある講演会で有名な先生から病気を治すのは、あなた方です。医者はそのお手伝いをするだけですといわれた言葉が、ひしひしとわかってくる感じになっております。

いろいろな要望を会の方に出して頂きたく思っております。

以上

《新会員の紹介》

H2. 4. 8以降分 敬称略

長山 きくゑ	〒316	日立市多賀町4-3-7	☎0294-33-0549
塩原 幸子	〒310	水戸市東原3-5-43	☎0292-25-0572
渡辺 徳治	〒312	勝田市大字津田1930-8	☎0292-73-8490
蘭 シヅイ	〒306	古河市鴻巣816-5	☎0280-48-0229
西山 正夫	〒310	水戸市元山町2-2-28	☎0292-24-6014
木村 寅吉	〒301	竜ヶ崎市高砂7730	☎0297-62-7443

事務局からのお知らせ

《第六回定期支部総会の予告》

- *日 時：平成3年4月7日（日）午前10時受付開始
 *場 所：水戸市千波町後川745 県立県民福祉センター
 *総会第二部：神奈川県立七沢総合リハビリテーションセンター 田口順子先生の
 パーキンソン病体操の予定

《歳末愛の募金を贈呈される》

茨城新聞文化福祉事業団の「平成二年歳末愛の募金」贈呈式は2年12月27日、水戸市北見の茨城新聞本社会議室で行われた。今年県民から寄せられた寄託金を県内の20福祉団体、21福祉施設、中国、ベトナムからの引き揚げ者、海外からの私費留学生にそれぞれに配分された。当支部にも20万円が贈呈されました。

計 報

鈴木 もと 様（三和町）平成2年6月
 森田 潔 様（水戸市）平成2年7月
 大高 一男 様（ ）平成2年8月

上記の会員が死去されました。ここに謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り申し上げます。

【編集後記】

昨年は、皆さんの協力でピアノデュオ、チャリティ・コンサートを開催し大成功の内に終わる事が出来まして、誠にありがとうございました。その為、各県の支部会報の発行が遅れてました事をお詫言下さい。それで今号は多数の方が原稿をお寄せ下さいまして発行出来ました。又ささいな事ですが、今号から整理のしやすいように、穴をあけてお送り致します。今後も皆さんの会報として頑張りますのでぜひ原稿をお寄せ下さい

JPCの国会請願署名・募金

君島 照子 様	綿引 義男 様
南 スイ 様	滝口 立子 様
軍司彦太郎 様	西野源四郎 様
佃 国夫 様	川又うめの 様
西山 正夫 様	本多 文子 様
池田 弥生 様	関根 いね 様
大森 信枝 様	清水 昇勝

*署名数150名・募金額53,150円でした。皆様のご協力ありがとうございました。当支部に還元金として、¥23,150円ありました。

又、署名はJPCと各県難連、疾病団体の代表が国会に請願致します。

【役員の仕事が変わりました】

副支部長 植本 泰久 ☎301 竜ヶ崎市貝原塚町3552-6 ☎0297-64-3546